



## 「プラス受信」

学校長 森本 信一

新型コロナウイルス感染症の収束が、なかなか見通せません。2学期開始早々ではありますが、これまで同様感染症対策をしっかりとって、予定している教育活動を状況に応じて行っていきたくと思います。引き続き家庭内で感染が広がらないようによろしくをお願いします。

2学期始業式の話を紹介します。

高校入試では面接がありますね。就職の時も、入社試験に面接があります。ある大手企業の社長は、面接で学生達に「あなたの人生は今までツイていましたか？」(運が良かったですかという意味)と質問し、その質問に「ツイていました」と答えた人を採用したそうです。

これはどうしてなのでしょう？実はこの質問は、ある発想ができる人間かどうか、それを見極めているのです。

それは「**プラス受信**」という発想です。「**プラス受信**」とは、あらゆる出来事をプラスに受け止める発想法です。世の中の出来事は、どんな嫌なことでも、受け止め方によっては、プラスに解釈することができるのです。

具体的にいくつか例を挙げてみます。

- ◎ 先生に叱られた。 → おかげで成長できた。
- ◎ 足を骨折した。 → 走れない分、上半身の筋トレがしっかりできる。
- ◎ 学級でトラブルが起きた。 → 学級がまとまるチャンスだ。
- ◎ 辛いことがあった。 → 自分を成長させるチャンスだ。

すべての出来事は前向きに考えればチャンスとなり、後ろ向きに考えればピンチとなります。「**どんなことが起きたか**」は問題ではありません。「**どう受け止めたか**」が大切です。チャンスにできない出来事はありません。チャンスにしない人がいるだけです。

「プラス受信」にはコツが2つあるそうです。

- ① この出来事は、自分にとってためになることだと考えること。
- ② ピンチを楽しむこと。

最初に話したある大手企業が「人生ツイています」と答えた人を採用した理由は、次のようなものでした。

- ◎ 周囲に感謝ができる人
- ◎ ストレスに対しても強い人
- ◎ 問題が起こっても前向きに解決しようとする人

私も日頃から「**プラス受信**」を心掛けるようにしています。まだまだできていませんが、できるようになる努力をしています。皆さんも「**プラス受信**」の発想で、どんなに辛いことがあってもポジティブ(前向き)に生きていってください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、9月18日(日)開催予定の体育大会は今年度も規模の縮小した午前開催とし、保護者の観覧制限などの対応をとらせていただきます。他の教育活動等におきましても、様々な感染対策による対応をお願いすることが予想されます。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 【学校教育目標】

夢と志をもち、主体的に学び考え行動し、心豊かでたくましい生徒を育成する。

- 1つ目「自分で考える」こと。
- 2つ目「対話する」こと。
- 3つ目「あきらめずに続ける」こと。